
窓際のオカルト信仰者(オカルティスト)

hispanic

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

窓際のオカルト信仰者^{オカルティスト}

【Nコード】

N1035P

【作者名】

h i s p a n i c

【あらすじ】

窓際最後列・・・ここにはいつもある生徒が座る。

これは、彼と関わった者たちが作り出す物語。

case 0 ―幕はまだ開かない―

某県立高校、1－A

ここには、学校の七不思議になってもおかしくないような「事実」がある。

ある一人の生徒が、何度席替えをしても窓際の最後列に収まる。それだけなら、あってもおかしくはない・・・確率上は、だが。しかし、その生徒は休み時間になるとおもむろに本を取り出し、何かを始めるという。

それは、おかしい儀式だったり、はたまたただの読書だったり・・・「読書」といっても、その本を覗き込んでみると魔術書だった、ということもあったそうだ。

そんな彼についたあだ名はオカルティスト・・・英語でオカルト信仰者、という意味らしい。

これは、そんな彼の話・・・ではなく、彼とかかわったものたちの話。

どれも真実でなくて、すべてが真実。

・・・それを信じるかは、あなた次第。

case 1 — 加藤 一の回想 —

・・・そうですね、僕が彼の前に座ったのは4月のことでしたか。
ええ、うわさは聞いてましたよ。

なかなか・・・そう、特徴のある人物とね。

いやいや、彼はなかなか面白い人でしたよ。

何でそんなことをするのか、って聞いたら

「だって、面白いじゃないの」って返すんですよ？

思わず笑ってしまいましたよ。

彼はただ、忠実に生きてただけなんじゃないですかね。

何に、って？ そんなの、自分自身の喜びに決まっているでしょう。

・・・そう、彼は「ただ夢を追っていただけ」なのではないですかね？

ええ、彼は最高の友人でしたよ。

周りが何と言おうと、否定する気はございませんね。

・・・僕の話は、とりあえずおしまいです。

よかったら、またどうぞ。

お待ちしておりますよ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1035p/>

窓際のオカルト信仰者(オカルティスト)

2010年12月6日02時59分発行